

産建教育常任委員会 議事録

日時：令和8年4月28日（火）

9：57～

場所：第1・2委員会

出席者

委員名 □委員長 遠藤 龍之 □副委員長 丸子 直樹 □委員 日下 重紀

□委員 菊地 孝式 □委員 品堀 栄洋 □委員 岩佐 孝子

欠なし

会議次第

1 開会宣告 【委員長】

2 連絡

4/19 議員補欠選挙で3名の議員が当選し、日下重紀議員及び菊地孝式議員が欠員となっていた産建教育常任委員に議長から指名されました。

※ SideBooks及びMicrosoft Teamsの04_常任委員会 産建教育常任委員会フォルダに次
第・資料を格納します。確認をお願いいたします。

3 事件

(1) 再編小学校について

【課長】両班長同席で説明します。これまでの経緯及び経過を資料に基づき説明。

【委員長】質疑どうぞ。

【岩佐孝子委員】前回全協で説明があったが校舎の位置と面積を考えるべき。小学校の裏手。消防署の前、西側。以前に中学校整備の際に北側の面積が取れずに、狭くなってしまったが、購入は考えているのか。

【課長】想定面積は満たしている。用地買収に期間を要する。従来からある御宅だけではなく新築が建っており、用地買収額を考えると、道路交通面を整備すること
で対応したい。

【岩佐孝子委員】事故の心配と送迎の関係を考えると、大きな支出となろうとも建設時点から考える、総合的な観点はないか。国道6号隣接であり、安全面の確保が
図れるのか。所有者には当たっていないと思うが、感触はどうか。

【課長】当たっては無いが、登記簿をとって調査している。購入不能土地もあり、
中抜けするようなことも考えられる。交通事情は道路整備を建設水道課と協議して
いきたい。

【岩佐孝子委員】交通安全と不登校対策もある。同時並行で進めなければなら
ない。一か所にすると決めたのはいいが。

【課長】不登校数は30名程度から4、50名となっている。今年度新たにスクー

ルソーシャルワーカーを学校に配置し、ケアハウスの在り方も利用数が増えており、今後のことを考えていく。

【副委員長】基本方針等を新議員に渡してほしい。データでも。

【課長】既に渡している。データは議会事務局に話している。

【副委員長】委員会の検討状況はどうか。

【課長】在り方検討委員会ののちに小中一貫教育検討委員会で検討したが、推進委員会で話し合われたのはまず、小中一貫校ではじめて児童生徒数の推移を見極めて義務教育学校にしていく方向。

【副委員長】その方向性は資料には入っていない。

【課長】掲載していないが、説明したとおり。

【副委員長】配置等等、作り方の問題になると思うが、プールをどうするか。取り壊すのか、残すのか現状ではどうか。

【課長】小学校のプールは消防用地との間にあるが、取り壊す考えにあり見積もりを取っており、その金額によっての活用を考えていく。

【副委員長】取り壊した場合の対応は。

【課長】プール維持管理、補修も必要なことから新たに作ることは考えなければならない。山一小の事例でも町内のほかのプールを使うことにしている。角田のプールなど考えることはあるが、決定事項ではない。

【品堀栄洋委員】新規入学予定者への説明の機会は。

【課長】こどもセンターでの説明会など機会をとらえてこちらから出向いて対応した。

【品堀栄洋委員】小中一貫校でいくということを保護者に理解してもらいやすいように説明していったほしい。

【課長】説明を尽くしたい。開催時間を工夫しても参加者が増えないこともあり、さらに検討していく。

【副委員長】学校長寿命化計画との関係、改修計画はどうなっているか。

【課長】中学校が改修必要とされている。

【佐藤班長】５月末までの工期で調査を行っている。現状受けている報告では、雨漏り等はあるが、特に目立った不良箇所は出てきていない。建て替えるほどではないという評価を受けている。

【岩佐孝子委員】建設して２５年、新たな学校になって３０年。またそこに、建設となった時に面積を確保できるのか懸念している。投資をいまずするのか、それとも別な場所とするのか。経年を見ると考えていく必要があるのはないか。費用を平準化とはいうが、投資をする、用地を確保するといった判断がどうなっているのか払しょくできない。

【課長】小中学校を新たな土地に建設という意見かと思うが、山元中学校を改修すると３０年耐用年数が伸びる。用地を確保する場合、開発に伴う遊水池の確保面積が大きい。県知事協議のみならず大臣協議までになる。それが出来上がるころには

必要な小中学校規模が変わるということにもなりかねない。子どもの数が増えていくのであればそれも検討したいが、現状維持以下であれば、現状を生かして進めていきたい。町長、副町長とも相談しながら進めていきたい。

【委員長】決まったことが進んでいっているものと思うが、開校年度が令和12年度は、4月開校を目指すのか。事業費が相当膨らんできていると思う。物価高騰及びイラン情勢による原油由来の資材不足。想像を超える影響があるのではないかと。

【課長】事業に影響が出ている。導入可能性調査は本来説明できる時期であったがイラン情勢を受けて、結果が示されない。今後この状況が続いていった場合、先々見通せないことが出てくる。企業に影響が出ている。都度、議会には説明していく。

【委員長】急ぐ必要はあるのか。1校にした根拠はそもそもどうか。

【課長】坂小、山一小での複式学級発生、先生の数が増える影響を町長は考えていったもの。町長選が間にあって1年延ばした経緯があるが、事務方は計画を進めている。

【委員長】最低2クラスで切磋琢磨することが1校にする根拠でもあった。今後児童生徒数の減少が見込まれることを考えたときに急ぐ必要はあるのか。

【課長】令和15、6年までは2クラス維持できる。切磋琢磨も説明しており、それもあるが、いじめ対応など複数クラスという意図もある。

【委員長】少子化を考えていったとき令和12年開校を急がず、現場の意見を取り入れていくために、PFI方式で吸い上げられるか、と云うことも考えなければいけない。全国的には人口減少が想定以上進んでいるという声もあり、町長のあわず騒がずということもある。事業費の動向も調査して欲しい。

【課長】町長と情報共有して、町の方針にのって進めている。必要があれば見直しということも考えられる。

【委員長】作ってよかったといわれるような結果があることが望ましい。プールも全国的な問題のようだが、必ずやる必要があるのか。

【課長】指導要領上やることになっているが、気象状況を見るとプールに入れる時期も限られる。国の動向、今後どうなるのかは見通せない。

【委員長】学校の先生方の考え方もあるのでは。教育委員会の考えは。国に訴えかけるのか。山元町の教育として水泳が必要と考えるのか。

【課長】指導要領どおり。必要と考えるので山一小のプール代替活用を考えている。

【委員長】一校になることで、小学校のプールを壊す場合、中学校のプール活用するのか。

【課長】プールは建て直さないわけではなく、検討中。

【委員長】ケアハウスの対策は。

【課長】一か所なので、再編小学校とはかわりないが、スクールソーシャルワーカーの追加配備や場所が手狭になれば、別なところの検討もある。

【副委員長】開校予定は、校舎がなくてもできるのか。

【課長】校舎があつて、教員がいなければいけないので4月開校になる。

【副委員長】どこまでできて4月開校、工期が伸びた場合、どの程度の目安で開校時期を判断するのか。

【課長】備品納入にも半年はかかるので、子どもたちを安全に入れられることを考える。議会へ都度説明する。

【品堀栄洋委員】ケアハウス、再編小学校を作った時点で、別な学校の校舎を使うのか。

【課長】事務局ではその方向性で考えている。通いやすく、それなりの面積。慎重に考えていく。

【委員長】送迎バス、時間は。

【課長】これからの検討、担当の考え方は坂元と山一小学区、台数は相当数ふえるだろうと想定している。安全運航を考えていく。30分程度と考えている。

【岩佐孝子委員】田舎は田舎の良さがある。学校を核に地域や文化の継承が図られてきた。現在の学校を見てもその色が薄い濃いがある。この地で生かされて、誇りを持てる人材を育てられるようにしてほしい。

【課長】坂小神楽、山小太鼓とか、町内に住んでいても互いにわからないこともある。教育課程の特例を活用に町内資源を生かしていきたい。

(11:09休憩 11:19再開)

【課長】山元町立学校教職員移管する業務量管理・健康確保実施計画を別紙資料に基づいて説明。5月12日全協説明の頭出し。給特法改正を受けた計画を策定。

【委員長】確認事項ある方。

【品堀栄洋委員】モンスターペアレントもいる。メンタルケアはどうなっているのか。

【課長】メンタルチェック、高ストレス者には医師の面談を行っている。

【品堀栄洋委員】年休取得のために先生を増やすのか。

【課長】児童生徒数から教員数が決まり、教員不足でもあるので、学校と教育委員会それぞれの取り組み点がある。

【委員長】外部人材活用、部活動の地域移行は。教職員の勤務時間は。時間外手当は。

【課長】教育委員会です。8:45～16:45が基本。県が定めた手当額がある。

【岩佐孝子委員】ICT支援員2名とは。全校で。学校にいて、ICT活用で外部と連携していくのに増員があってもいいのではないのか。

【課長】軌道に乗せる段階で人数が多かった。県内でも多い状況。特別教育支援員やスクールサポートスタッフを配置し対応している。

【岩佐孝子委員】学校間の格差があるのではないか。一校にするのであれば、そこを縮める必要があるのではないか。

【課長】格差がないように対応、指導する。

【副委員長】授業準備に必要な時間が多いものにスクールサポートスタッフの増員は考えられるか。

【課長】現在検討してはいるが、人材確保を計画的に進めていきたい。

【副委員長】全国的に問題解消のための配置だと思う。学校を辞められた方が入るとOJTもできるので、サポートしてもらいたい。

【課長】山元中学校生徒中心に腹痛と嘔吐が先週発生。木曜日発生、一学年15名欠席、合計32人。食中毒等ではない。保健所が入ったが次の金曜日にも給食を提供した。症状の出た生徒に検体の協力を受け保健所に持ち込んでいる。メール配信し、食中毒ではない、原因がわかり次第、報告するとしているが、医師の診断も主に胃腸炎ということ。保健所からの報告待ち。

【委員長】確認事項は。

【品堀栄洋委員】前にもあった。

【課長】牛乳の異臭騒ぎであったが、それも問題なかった。

【岩佐孝子委員】学校、教育委員会に対する意見が聞こえたが、メール配信を確認し、速やかな対応を行っていることを確認した。

【課長】学校を欠席している子どももおりメール対応した。

【委員長】新たな事例は。症状はよくなっている。

【課長】木金だけで、小学校に影響も出ていない。原因不明だが、それを待っている。

(11:41 執行部退席)

(2) 優良市町村視察研修について(2泊3日)

① テーマ：2項目

- ・商工業、農漁業後継者確保対策について
- ・学校再編について
- ・能登地方の震災後の復興

※ 各人チームズに提案し、正副委員長から産建・教育の中から後日提示したい。

② 時期：6月議会終了後、7月中

③ 執行部2名、委員6名、事務局1名

4 その他

(1) 商工業、農業の担い手確保対策について

商工会、農協の担い手状況現地調査を検討する。産業観光課と協議。

できれば1日で開催したい。相手方との交渉で日程を連絡する。

○次回開催（未定） 月 日（ ）午前 時 分～

5 閉会宣告 【委員長】

（ 1 2 : 0 2 閉会）